

コーポレート・ハイブリッド 証券ファンド (為替ヘッジあり) 2016-11 (愛称:メジャー・カンパニーズ16-11)

運用報告書(全体版) 第5期

(決算日 2019年3月14日)
(作成対象期間 2018年9月15日~2019年3月14日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信/内外/その他資産 (ハイブリッド証券)		
信託期間	約4年間 (2016年11月30日~2020年11月30日)		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>の受益証券	
	ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>	イ. 世界の企業 (金融機関を除きます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債および優先証券) ロ. 世界の企業 (金融機関を除きます。) が発行する普通社債 ハ. 先進国の国債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド	組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、基準価額の水準および経費控除後の配当等収益の水準等を勘案し、元本超過額の範囲内で分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3324>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				受 益 者 回 り	公 社 債 組 入 比 率	元 残 存 本 率
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 額	期 騰 落 中 率			
設 定 (2016年11月30日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期 末 (2017年 3月14日)	10,172	30	202	2.0	7.0	95.7	98.0
2 期 末 (2017年 9月14日)	10,441	45	314	3.1	6.5	98.7	84.1
3 期 末 (2018年 3月14日)	10,528	45	132	1.3	5.0	97.1	75.5
4 期 末 (2018年 9月14日)	10,401	45	△ 82	△ 0.8	3.2	98.0	67.3
5 期 末 (2019年 3月14日)	10,378	45	22	0.2	2.6	95.9	59.1

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

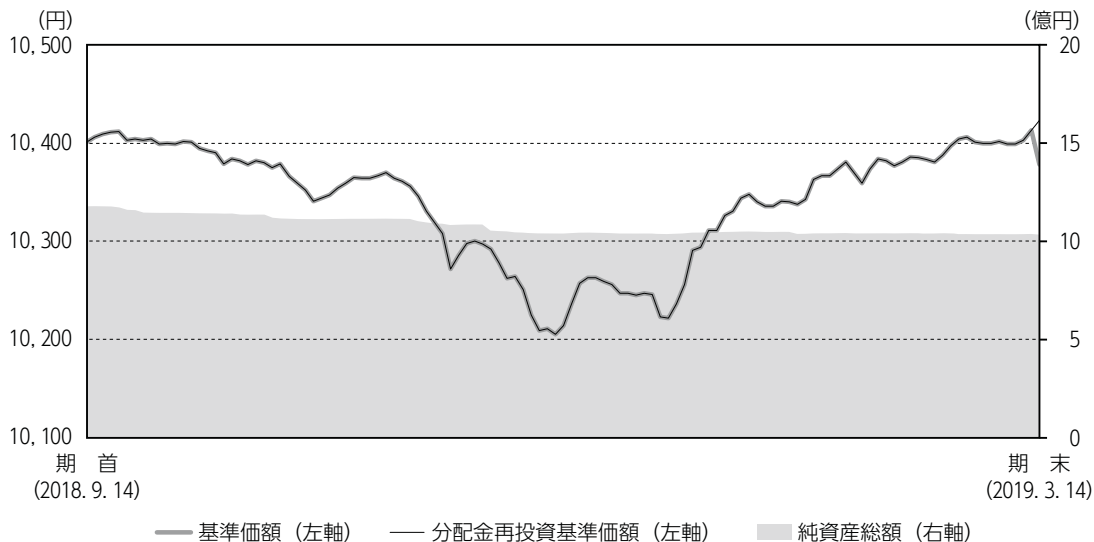
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,401円

期末：10,378円（分配金45円）

騰落率：0.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020-12≫」の受益証券を通じて、主として世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり） 2016-11

年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 社 比 債 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2018年 9月14日	10,401	—	98.0
9月 末	10,404	0.0	98.7
10月 末	10,347	△ 0.5	95.2
11月 末	10,278	△ 1.2	95.7
12月 末	10,246	△ 1.5	94.2
2019年 1月 末	10,343	△ 0.6	97.5
2月 末	10,404	0.0	95.8
(期 末) 2019年 3月14日	10,423	0.2	95.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 9. 15 ~ 2019. 3. 14)

海外債券市況

海外債券市況は、ドイツや英国の国債金利が低下しました。

当作成期首より、イタリアに対する政治的不透明感が高まったことや世界的な株価の下落、また英国ではEU（欧州連合）離脱担当大臣が辞任するなどメイ首相の求心力低下が懸念されたことを背景に、2018年12月下旬にかけて金利は低下しました。その後は、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が慎重な経済見通しを示したことやEU離脱に対する思惑が二転三転する中で、金利は低位に推移しました。

コーポレート・ハイブリッド証券は、クレジット市場が全般的に売られ市場心理が悪化したことなどを背景に、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。コーポレート・ハイブリッド証券の金利は、銘柄によってまちまちの推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」**当ファンド**

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を高位に組み入れます。

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では、公益セクターを軸に当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2018. 9. 15 ~ 2019. 3. 14)

■当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を高位に組み入れました。

■ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。業種構成は、業績の安定性や債券の流動性などを勘案し、主な発行業種である公益セクターを軸とし、当ファンドの信託期間内にコール等が見込まれる銘柄の組み入れを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は45円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額42,122,679円が、経費控除後の配当等収益14,674,823円を超過しているため、純資産額の元本超過額42,122,679円（1万口当り422.69円）を分配対象額として、うち4,484,352円（1万口当り45円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を高位に組み入れます。

■ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 9. 15~2019. 3. 14)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.554%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,341円です。
（投信会社）	(28)	(0.268)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(28)	(0.268)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.019)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	58	0.564	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年9月15日から2019年3月14日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>	—	—	142,722	156,400

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>	1,067,791	925,069	1,023,682

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>	1,023,682	98.0
コール・ローン等、その他	20,723	2.0
投資信託財産総額	1,044,405	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月14日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=147.83円、1ユーロ=126.05円です。

(注3) ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>において、当期末における外貨建純資産(3,499,306千円)の投資信託財産総額(3,568,626千円)に対する比率は、98.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月14日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,044,405,405円
コール・ローン等	20,723,061
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-12>(評価額)	1,023,682,344
(B) 負債	10,244,309
未払収益分配金	4,484,352
未払信託報酬	5,716,714
その他未払費用	43,243
(C) 純資産総額(A-B)	1,034,161,096
元本	996,522,769
次期繰越損益金	37,638,327
(D) 受益権総口数	996,522,769口
1万口当り基準価額(C/D)	10,378円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,378円です。

■損益の状況

当期 自2018年9月15日 至2019年3月14日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,364円
受取利息	1
支払利息	△ 1,365
(B) 有価証券売買損益	11,080,472
売買益	11,080,472
(C) 有価証券評価差損益	△ 3,540,408
(D) 信託報酬等	△ 6,022,345
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	1,516,355
(F) 前期繰越損益金	45,404,837
(G) 解約差損益金	△ 4,798,513
(H) 合計(E+F+G)	42,122,679
(I) 収益分配金	△ 4,484,352
次期繰越損益金(H+I)	37,638,327

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	45円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《お知らせ》

●**運用管理費用（信託報酬）の変更について**

ハイブリッド証券等の組入比率が低下した際、運用管理費用（信託報酬）のうち委託会社の信託報酬率を引き下げることができるようになりました。

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券 マザーファンド<<2020-12>>

運用報告書 第5期 (決算日 2019年3月14日)

(作成対象期間 2018年9月15日～2019年3月14日)

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	イ. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券） ロ. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行する普通社債 ハ. 先進国の国債
株式組入制限	無制限

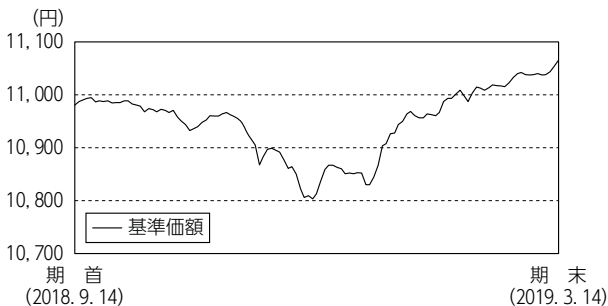
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率 %	
(期首) 2018年9月14日	10,981	—	98.5
9月末	10,989	0.1	99.1
10月末	10,940	△ 0.4	95.5
11月末	10,877	△ 0.9	96.0
12月末	10,852	△ 1.2	94.3
2019年1月末	10,967	△ 0.1	97.5
2月末	11,041	0.5	95.7
(期末) 2019年3月14日	11,066	0.8	96.9

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首: 10,981円 期末: 11,066円 騰落率: 0.8%

【基準価額の主な変動要因】

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆ 投資環境について

○ 海外債券市況

海外債券市況は、ドイツや英国の国債金利が低下しました。

当作成期首より、イタリアに対する政治的不透明感が高まったことや世界的な株価の下落、また英国ではEU(欧州連合)離脱担当大臣が辞任するなどメイ首相の求心力低下が懸念されたことを背景に、2018年12月下旬にかけて金利は低下しました。その後は、ECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁が慎重な経済見通しを示したことやEU離脱に対する思惑が二転三転する中で、金利は低位に推移しました。

コーポレート・ハイブリッド証券は、クレジット市場が全般的に

売られ市場心理が悪化したことなどを背景に、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)は拡大しました。コーポレート・ハイブリッド証券の金利は、銘柄によってまちまちの推移となりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール(繰上償還)等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆ ポートフォリオについて

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。業種構成は、業績の安定性や債券の流動性などを勘案し、主な発行業種である公益セクターを軸とし、当ファンドの信託期間内にコール等が見込まれる銘柄の組み入れを維持しました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年9月15日から2019年3月14日まで)

		買付額	売付額
外 国	イギリス	千イギリス・ポンド —	千イギリス・ポンド 105 (600)
	ユーロ (オランダ)	千ユーロ —	千ユーロ 304 (—)
	ユーロ (フランス)	千ユーロ 1,688	千ユーロ (1,010)
	ユーロ (ドイツ)	千ユーロ —	千ユーロ 102 (—)
	ユーロ (その他)	千ユーロ —	千ユーロ 209 (—)
	ユーロ (ユーロ通貨計)	千ユーロ 1,688	千ユーロ 1,136 (1,010)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年9月15日から2019年3月14日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Arkema SA (フランス) 4.75% 永久債	千円 211,303	Electricite de France SA (フランス) 4.25% 永久債 Vonovia Finance BV (オランダ) 4.625% 2074/4/8 AMERICA MOVIL SA de CV (メキシコ) 6.375% 2073/9/6 DONG Energy A/S (デンマーク) 3% 3015/11/6 Suez Environnement Co (フランス) 3% 永久債 NGG Finance PLC (イギリス) 4.25% 2076/6/18 Bayer AG (ドイツ) 3% 2075/7/1 Orange SA (フランス) 4.25% 永久債	千円 41,014 39,300 15,355 13,728 13,702 13,541 13,494 13,394

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
イギリス	千イギリス・ポンド 5,800	千イギリス・ポンド 6,063	千円 896,385	% 25.6	% —	% 25.6	% —	% —
ユーロ (オランダ)	千ユーロ 2,000	千ユーロ 2,005	252,833	7.2	—	7.2	—	—
ユーロ (フランス)	千ユーロ 8,300	千ユーロ 8,609	1,085,268	31.0	—	31.0	—	—
ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 2,400	千ユーロ 2,448	308,694	8.8	—	8.8	—	—
ユーロ (その他)	千ユーロ 6,500	千ユーロ 6,746	850,440	24.3	—	24.3	—	—
ユーロ (小計)	千ユーロ 19,200	千ユーロ 19,811	2,497,236	71.3	—	71.3	—	—
合 計	—	—	3,393,622	96.9	—	96.9	—	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国(外貨建)公社債(銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日								
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額									
イギリス	Enel SpA SSE PLC AMERICA MOVIL SA de CV	社債券 社債券 社債券	% 7.7500 3.8750 6.3750	千イギリス・ポンド 1,800 2,100 1,900	千イギリス・ポンド 1,932 2,115 2,015	千円 285,718 312,712 297,954	2075/09/10 永久債 2073/09/06								
								通貨小計	銘柄数 3銘柄	金額	5,800	6,063	896,385		
								ユーロ(オランダ)	Vonovia Finance BV	社債券	4.6250	千ユーロ 2,000	千ユーロ 2,005	252,833	2074/04/08
								国小計	銘柄数 1銘柄	金額	2,000	2,005	252,833		
ユーロ(フランス)	Electricite de France SA Suez Environnement Co Arkema SA Orange SA	社債券 社債券 社債券 社債券	4.2500 3.0000 4.7500 4.2500	千ユーロ 2,200 2,300 1,600 2,200	千ユーロ 2,271 2,358 1,705 2,274	286,328 297,235 214,944 286,760	永久債 永久債 永久債 永久債								
								国小計	銘柄数 4銘柄	金額	8,300	8,609	1,085,268		
								ユーロ(ドイツ)	Bayer AG	社債券	3.0000	千ユーロ 2,400	千ユーロ 2,448	308,694	2075/07/01
								国小計	銘柄数 1銘柄	金額	2,400	2,448	308,694		

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					千ユーロ	千円	
ユーロ (その他)	NGG Finance PLC	社債券	4.2500%	2,200	2,293	289,134	2076/06/18
	DONG Energy A/S	社債券	3.0000	2,300	2,375	299,482	3015/11/06
	Volvo Treasury AB	社債券	4.2000	2,000	2,077	261,823	2075/06/10
国 小 計	銘柄数 金 額	3銘柄		6,500	6,746	850,440	
通 貨 小 計	銘柄数 金 額	9銘柄		19,200	19,811	2,497,236	
合 計	銘柄数 金 額	12銘柄				3,393,622	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 3,393,622	% 95.1
コール・ローン等、その他	175,004	4.9
投資信託財産総額	3,568,626	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月14日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=147.83円、1ユーロ=126.05円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,499,306千円)の投資信託財産総額(3,568,626千円)に対する比率は、98.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月14日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,967,663,349円
コール・ローン等	99,775,084
公社債(評価額)	3,393,622,020
未収入金	3,399,036,631
未収利息	73,103,686
前払費用	2,125,928
(B) 負債	3,466,181,948
未払金	3,466,181,800
その他未払費用	148
(C) 純資産総額(A-B)	3,501,481,401
元本	3,164,161,557
次期繰越損益金	337,319,844
(D) 受益権総口数	3,164,161,557口
1万口当り基準価額(C/D)	11,066円

* 期首における元本額は3,413,104,308円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は248,942,751円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-11 925,069,894円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2017-01 566,561,391円、ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-09 1,672,530,272円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,066円です。

■損益の状況

当期 自2018年9月15日 至2019年3月14日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	71,419,879円
受取利息	71,581,171
支払利息	△ 161,292
(B) 有価証券売買損益	△ 44,439,700
売買益	343,563,896
売買損	△ 388,003,596
(C) その他費用	△ 221,543
(D) 当期損益金 (A + B + C)	26,758,636
(E) 前期繰越損益金	334,718,457
(F) 解約差損益金	△ 24,157,249
(G) 合計 (D + E + F)	337,319,844
次期繰越損益金 (G)	337,319,844

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。